

グローバル・シティズンシップを育む アントレプレナー教育 —南オーストラリアとの研究交流実践—

1. はじめに

南オーストラリアのアントレプレナー教育

- ・本研究は、第13回発表「キャリア教育の一環としてのアントレプレナーシップの育成—オーストラリア（アデレード）の取組より」（大本, 2025）の続編である
- ・本学の教員が訪問した南オーストラリアの学校のうち2校および南オーストラリア州政府教育省と提携することで、本学と附属池田高が共同で**附属池田高の海外研修をデザイン・実施**するものである
- ・南オーストラリア州政府教育省の考える、アントレプレナー教育※とは、**単にビジネスを起こす（起業）ためのマインドセットにとどまらない**。アントレプレナー教育は、生徒がクリエイティブに課題解決を行ったり、イノベーティブな思考を育成することをサポートすることで、より多くの若者が、**社長から従業員に至るまで、社会において、主体的な一員となることを目標**としている

※南オーストラリア州政府教育省 “Entrepreneurial Learning strategy” <https://www.education.sa.gov.au/docs/spc/entrepreneurial-learning-strategy.pdf> (2026. 2. 5. 参照) より

附属高等学校池田校舎の国際教育

- ・ユネスコスクール（ASPnet）としての国際協働学習
- ・ESDや多文化理解が基盤の**国際協働研究**
- ・データサイエンスを活用した**国際的課題解決学習・イノベーティブな学び**
- ・**生徒主体の教科外教育**



2. 本実践研究の目的

海外研修の実施（アデレード州立高校との国際研究交流の展開）

- ・附属高等学校池田校舎における**国際協働研究・国際的課題解決学習・生徒主体の教科外教育**の教育実践と、アデレード州立高校におけるアントレプレナー教育との研究交流を通じて、生徒一人ひとりの主体性・社会参画意識の育成のみならず、社会課題の解決につながるイノベーションを生み出す教育モデルの構築をめざす
- ・南オーストラリア州立学校である**Seaton High School・Banksia Park International High School**を訪問し、以下3点について具体的な交流方法を開発することを目的とする：
 - ①生徒同士の協働的な学習・探究活動の方法
 - ②教員同士のカリキュラム・評価手法に関する研究交流
 - ③アントレプレナー教育を支える学校文化・授業設計



Banksia Park International HS

3. 研究交流実践までのプロセス

2024年3月	南オーストラリア州政府教育省	アントレプレナー教育研究指定校4校を訪問・視察	(大本・瓜生)
2024年5月	日本にて南オーストラリア州政府教育省担当者	と打ち合わせ（以後メールのやり取り）	(瓜生)
2025年3月	南オーストラリア州教育省	を訪問・交流の正式な申し込み	(瓜生)
2025年5月	大阪万博・オーストラリア館にて南オーストラリア州政府教育省担当者	と対面	(田上・瓜生)
2025年8月	Seaton High School・Banksia Park International High Schoolの2校及び南オーストラリア州教育省	を表敬訪問 2校のアントレプレナー教育担当教員と研究交流について打ち合わせ（以後メール等のやり取り） 宿舎の選定・Adelaideでの市内研修をプランニング	(田上・畠山・瓜生)
2025年11月	附属高池田校舎において本海外研修の実施を決定		
2025年12月	参加生徒の募集を開始	(説明会には約40名の参加)	
2026年1月	応募生徒の面接・11名の派遣が決定	(畠山・南)	
2026年3月	渡航前研修開始	(畠山・南)	



Banksia Park International HS



Seaton HS

第1回 海外研修実施 (2026年5月2日(土)～5月10日(日))

- ・南オーストラリア州の街Adelaideの郊外にある宿泊研修施設において、池附生だけの集団生活・毎日のブラッシュアップ・ミーティング
- ・Seaton High School・Banksia Park International High School・生徒とともにアントレプレナー教育型授業を体験
(ex.)事前に考えたお互いの地域課題を共有し・解決法をともに考える
- ・教会の街 Adelaideを安心して探究



Adelaide 郊外にある宿泊研修施設



Adelaide の街

4. 結果と考察・今後の課題

- ・研修実施後の成果については、渡航前後アンケート・振り返りシート・教員・現地パートナーの観察記録 等の手段を用いて考察の予定 → **第2回以後に向けて、より持続可能な研修に再デザイン**
- ・海外交流校と協働で研修のデザインを行ったノウハウを他校に提供することが今後の課題